



トステム株式会社

リビング建材 ウッディーライン 玄関収納 〈トールキャビネット〉 取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- キャビネットが落下・転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
 - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - ・ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
 - ・必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
 - ・組立ての際は、接合部・背板溝に付属の接着剤を充てんしてください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下・地板のたわみの原因となります。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。
 - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
 - ・躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタつきのないことを確認してください。
 - ・リフォームなどの場合で栈木位置が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして栈木位置を確認してください。栈木がない場合は、柱・間柱に釘などで栈木を取付けてください。

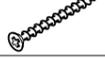
▲注意

- 扉の取付けの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。

■取付け上のおお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、扉の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが傷損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。

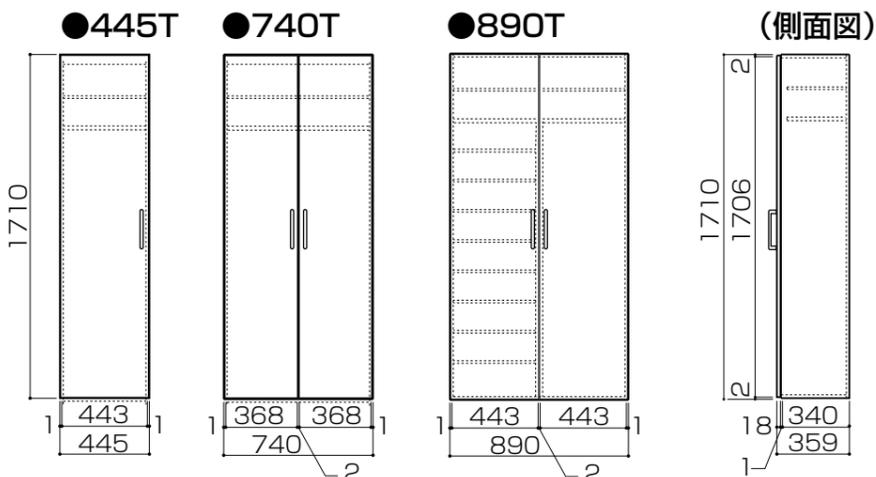
■部材部品一覧表

		部材・部品名	数量			
			445T	740T	890T	
キャビネット 梱包	部材	①側板	2	2	2	
		②天板・地板	2	2	2	
		③背板	1	1	1	
		④固定棚	1	1	1	
		⑤中仕切	-	-	1	
		⑥棚板/W413	1	-	-	
		棚板/W419	-	-	8	
		棚板/W708	-	1	-	
		棚板/W858	-	-	1	
		背板芯材	2	2	2	
	部品	棚ダボ		4	4	36
		キャビネット連結ねじφ3.5×27(黒)		10	10	13
		躯体取付けねじφ3.8×60		3	3	5
接着剤			1	1	1	
扉梱包 (1枚入り)	部材	丁番座		3	6	6
		丁番カップ		3	6	6
		穴かくしキャップ		6	-	-
		扉/左右兼用	1 (1枚入り1梱包)	2 (1枚入り1梱包)	2 (1枚入り1梱包)	

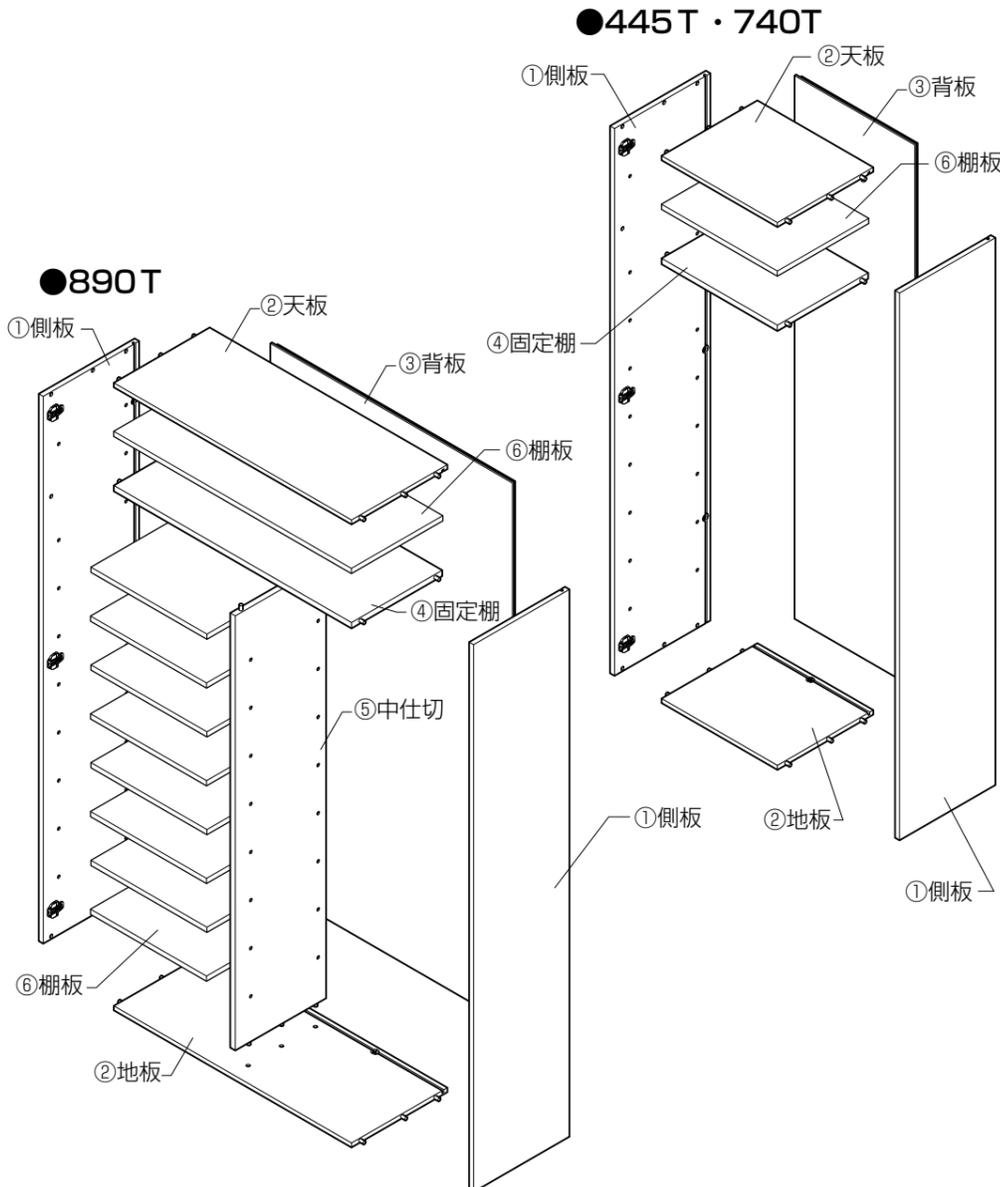
		部材・部品名	数量
フロート受け部材	部材	フロート受け材	445(740・890)
	部品	フロート受け材取付けねじ (トラスタッピンねじφ4×50)	1
		フロート金具	2 (3)
		フロート金具取付けねじ (トラスタッピンねじφ4×16)	2
		L字アングル	4
		L字アングル取付けねじ(キャビネット側) (皿木ねじφ3.1×16)	1
		L字アングル取付けねじ(躯体側) (皿木ねじφ3.8×45)	2

		部材・部品名	数量
把手セット	部品	把手	1
		把手取付けねじ (トラス小ねじ M4×25)	2

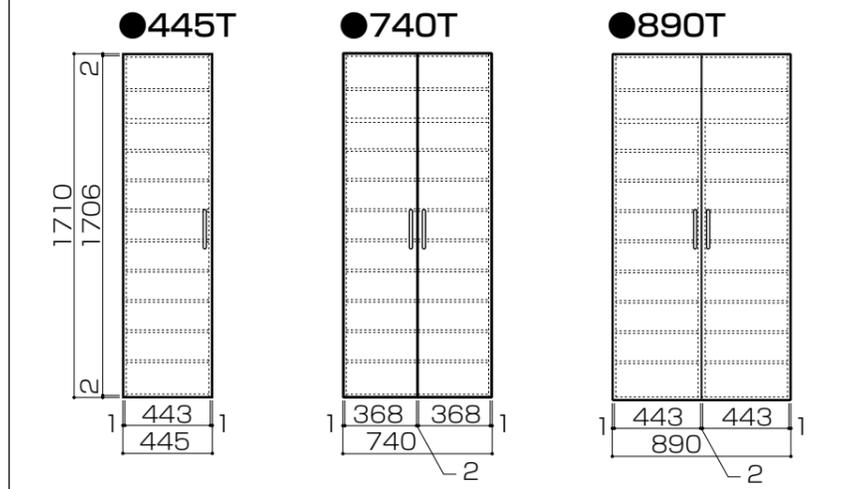
■寸法図



■各部名称



■オプション仕様 (追加棚板セット取付け時)



■扉の開閉方向

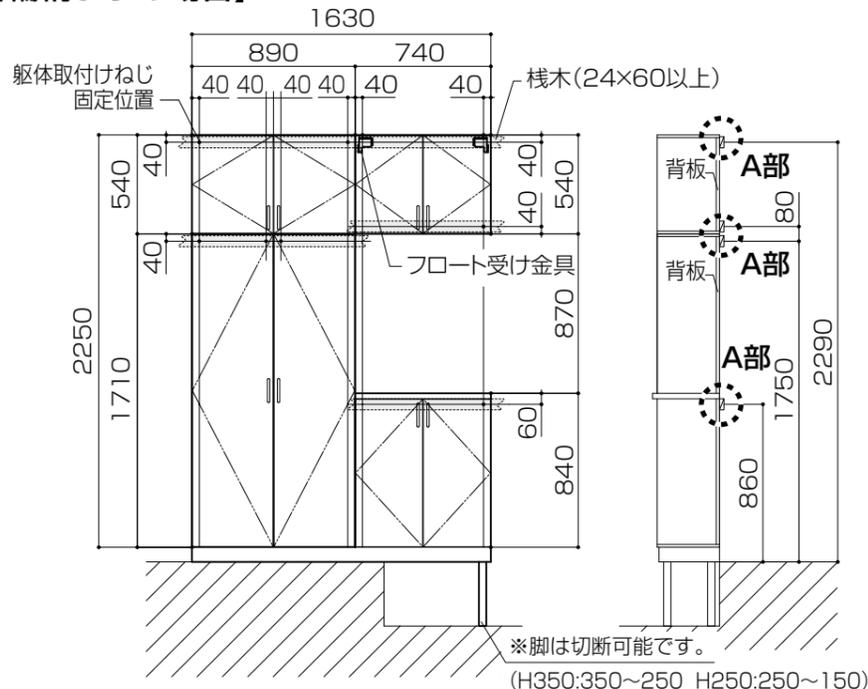
※左右勝手は、丁番の取付け位置により選択できます。
※扉は左右兼用です。

■据付け前の準備

■1 棧木の設置位置確認

●据付け場所と上がり框の位置及び収納セットの左右勝手を確認し、棧木を設置します。

【台輪納まりの場合】

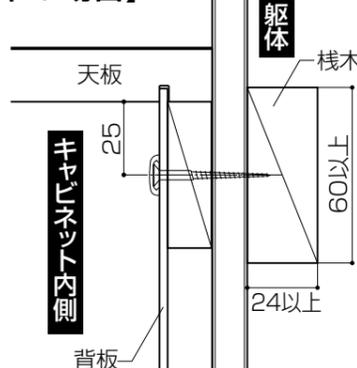


⚠ 警告

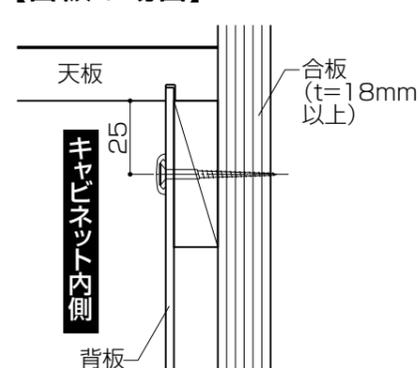
- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

■A部詳細図

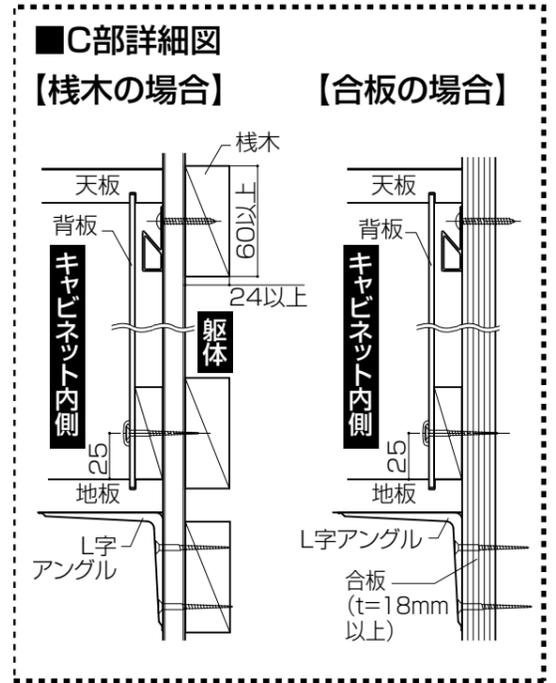
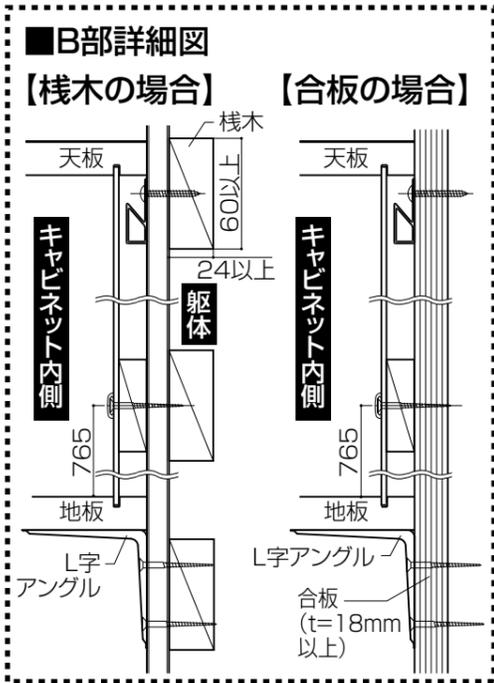
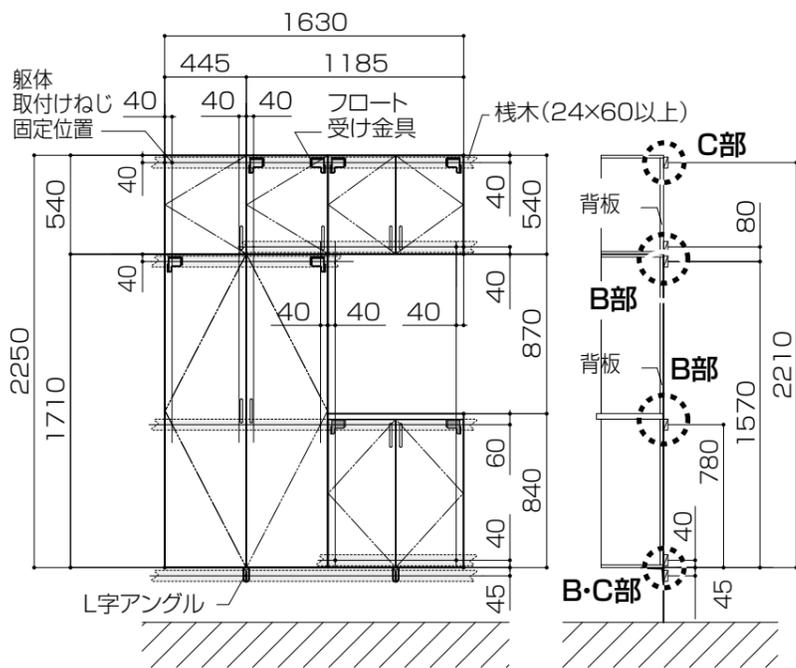
【棧木の場合】



【合板の場合】



【フロート納まりの場合】

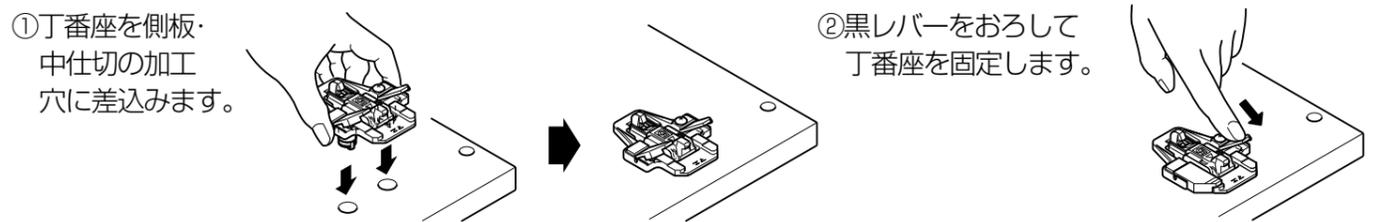


■組立て順序

1 丁番座の取付け

1 丁番座の取付け

※445Tの場合、左右勝手は、丁番座の取付け位置により選択できます。戸先側の側板の丁番取付け穴は、穴かくしキャップを取付けてください。
 ※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。



2 キャビネットの組立て

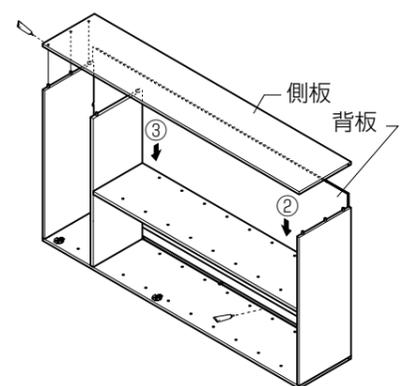
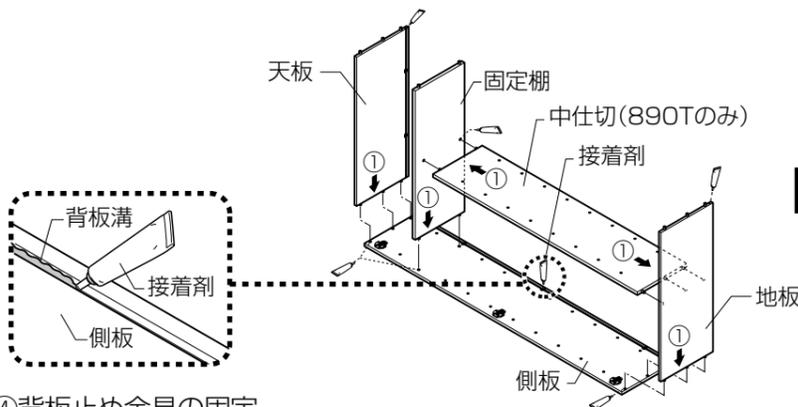
2 キャビネットの組立て

▲警告
 ●接合部には、必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が出ず、キャビネットの転倒・脱落の原因になります。

お願い
 ※背板が背板溝に入っていることを確認してください。

①固定棚及び天板・地板を片側の側板にはめ込みます。
 ※890Tは中仕切も組込んでください。

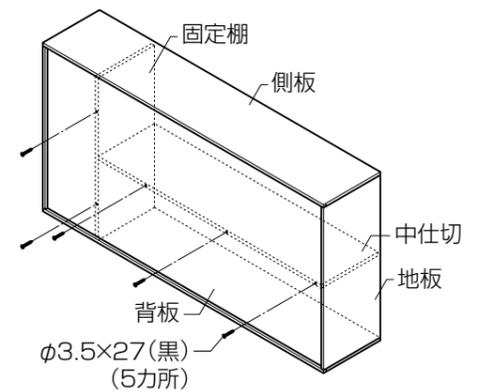
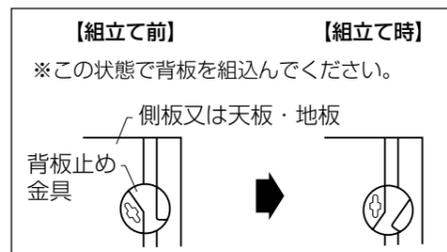
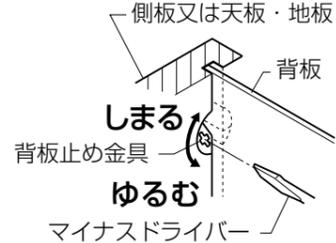
②背板を差込みます。
 ③もう一方の側板をはめ込みます。



④背板止め金具の固定
 キャビネットの対角・垂直を確認した後、背板止め金具を締め付けます。

⑤固定棚の固定
 背板側から固定棚板をねじ止めします。
 ※890Tは中仕切もねじ止めします。

※マイナスドライバーで、右回りに締め付けます。



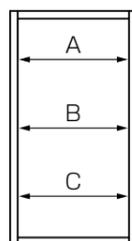
3 組立て後の確認

3 組立て後の確認

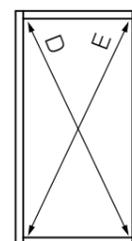
●キャビネットの水平・対角・垂直方向の内法寸法が、それぞれ等しいことを確認してください。

※寸法の確認は接着剤硬化前に行い、寸法が異なる場合は「④背板止め金具の固定」をやり直して調整してください。

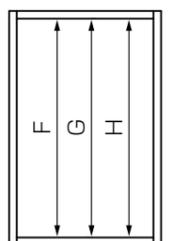
【水平方向】A=B=C



【対角方向】D=E



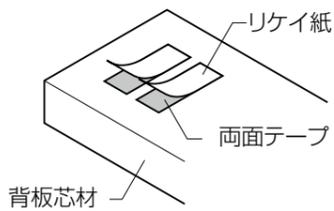
【垂直方向】F=G=H



4 背板芯材の取付け

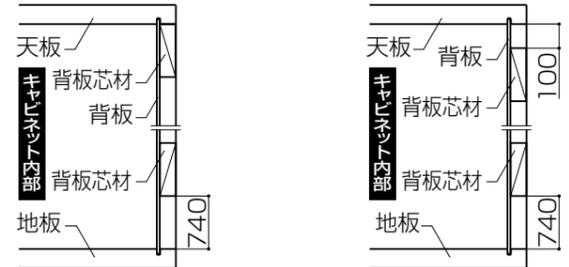
4 背板芯材の取付け

- 背板芯材に付いている両面テープのリケイ紙をはがして、背板に仮止めます。



【台輪納まりの場合】

【フロート納まりの場合】



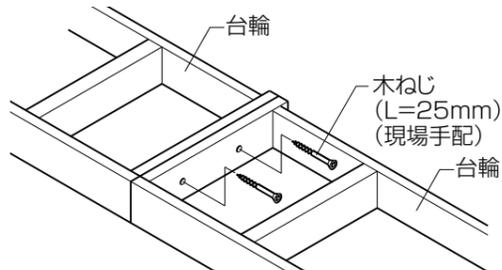
■キャビネット取付け順序(台輪納まりの場合)

1 台輪の設置

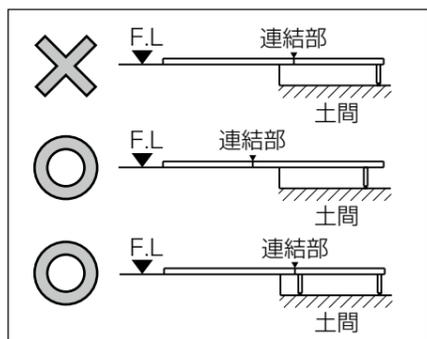
1 台輪の設置

- 据付け場所に台輪を置きます。

※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(L=25mm)で連結してください。

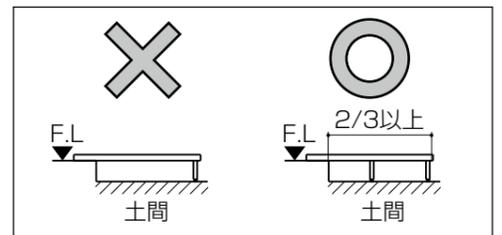


※連結部は、床にかかるようにしてください。やむを得ずかからない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



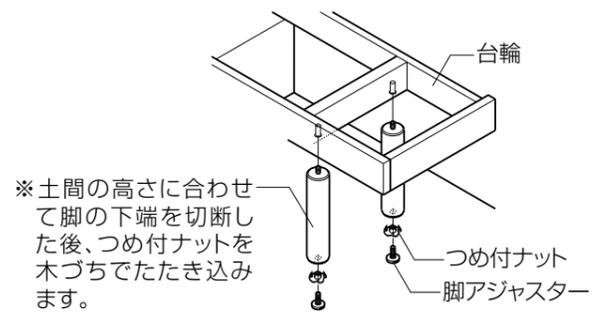
※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。

※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(別売品)を使用し、脚を4本設置してください。



※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。(H350:350~250mm H250:250~150mm)

※アジャスターの調整範囲は10mm~20mmです。



2 壁面への固定

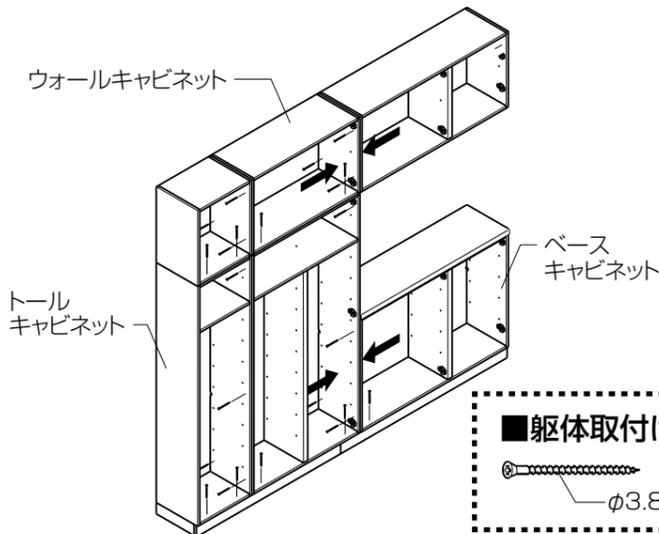
▲警告

- 取付けねじは必ず桧木又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。転倒のおそれがあります。

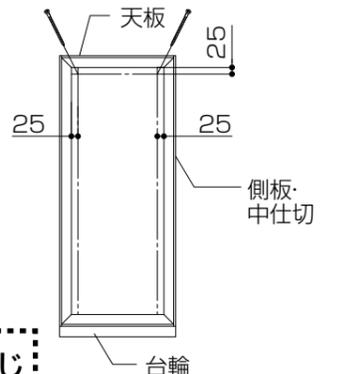
2 壁面への固定

※水準器・下げ振り等でキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

- ①キャビネットとキャビネットにすき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面・側面を揃え、躯体取付けねじ(φ3.8×60)で固定します。



■壁面固定位置

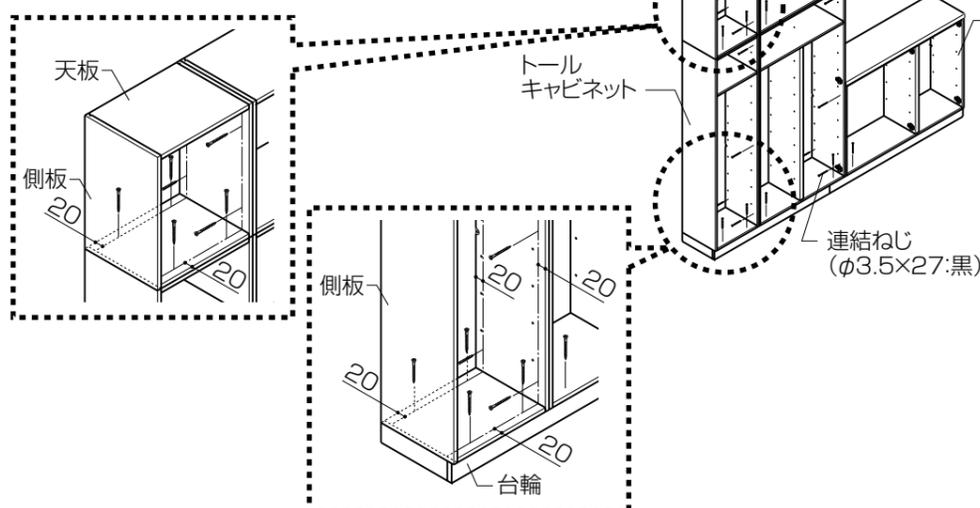


3 台輪への固定

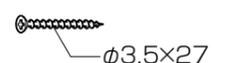
3 台輪への固定

【各キャビネットへの連結】

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ(φ3.5×27:黒)で連結します。

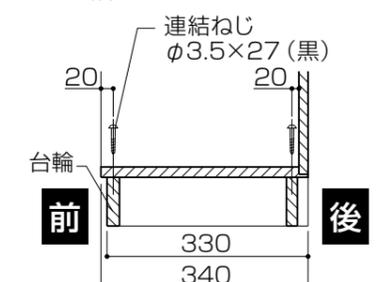


■連結ねじ(黒)



【台輪とキャビネットの連結】

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ(φ3.5×27:黒)で連結します。

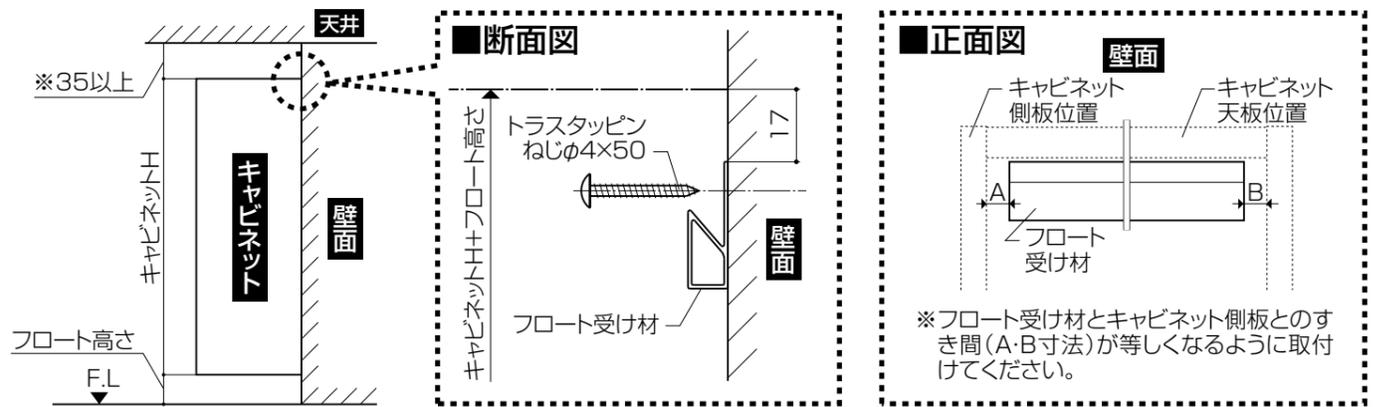


■キャビネット取付け順序（フロート納まりの場合）

1 フロート受け材の設置

1 フロート受け材の設置

- 収納セットのプランを確認し、壁面(躯体)にフロート受け材を同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で取付けます。
- ※キャビネット上部と天井、造作材との間は35mm以上空けてください。キャビネットの取付けができなくなります。

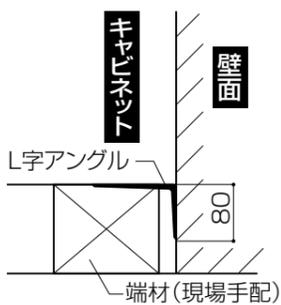


2 キャビネット吊込み

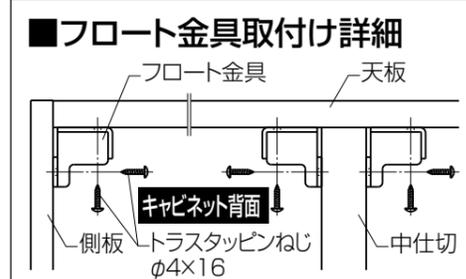
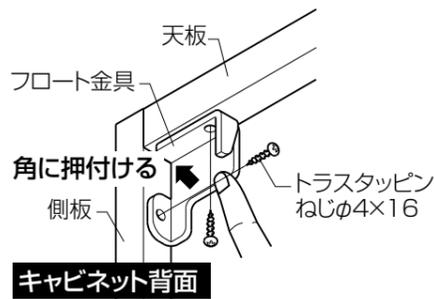
2 キャビネット吊込み

お願い

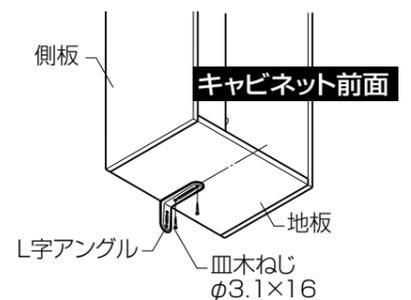
- ※フロート金具と側板、又は中仕切、天板、背板にすき間がないように取付けてください。すき間があると、キャビネットと壁面とのすき間の原因となります。
- ※必ず手回しドライバー又は、クラッチ付ドライバーで取付けてください。部材が割れる原因になります。
- ※キャビネットを床に仮置きする場合、L字アングルが折れるのを防ぐため、キャビネットの下に端材を敷いてください。(高さ100mm以上)



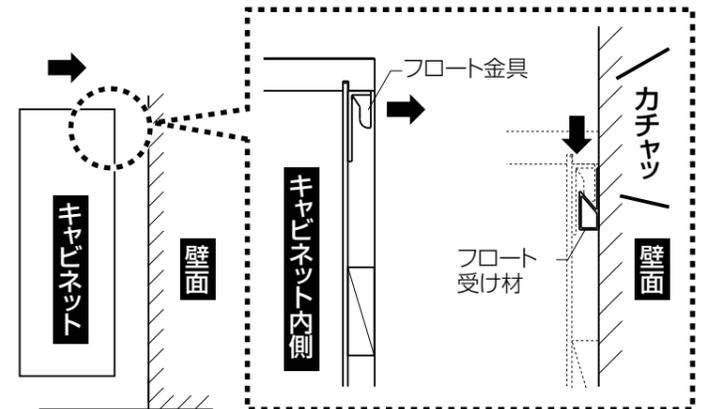
- ①キャビネットにフロート金具を、同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×16)で取付けます。(キャビネット背面)



- ②キャビネットの地板に、L字アングルを同梱のねじ(皿木ねじφ3.1×16)で取付けます。



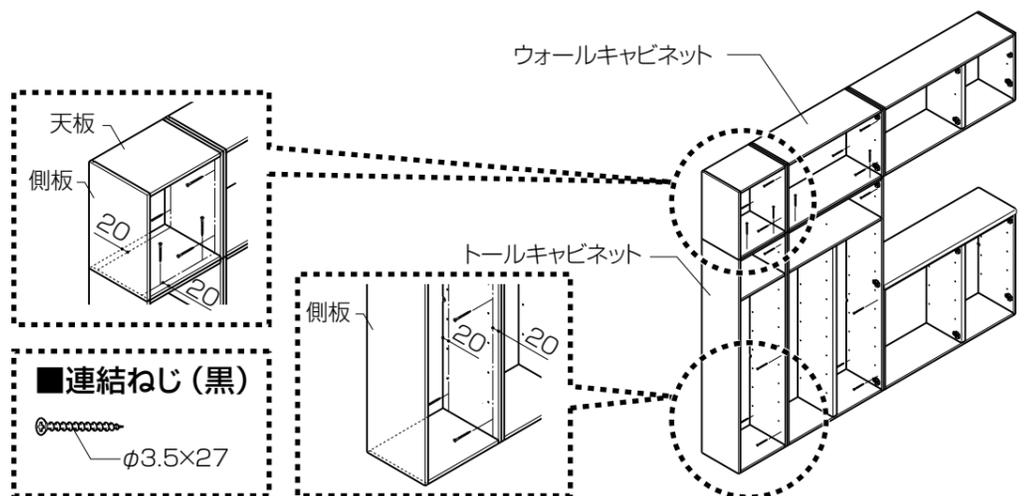
- ③フロート受け材にキャビネットを吊込みます。
キャビネットを水平に壁に当て、ゆっくり下ろします。
※キャビネットと壁面にすき間がないようにしてください。
「カチャッ」と音がすれば吊込み完了です。
※吊込み後、キャビネットを持って左右にゆらし、フロート受け材とフロート金具にガタツキがないかを確認してください。



3 キャビネットの連結

3 キャビネットの連結

- キャビネットの側板前面を揃え、連結ねじ(3.5×27:黒)で連結します。



4 壁面への固定

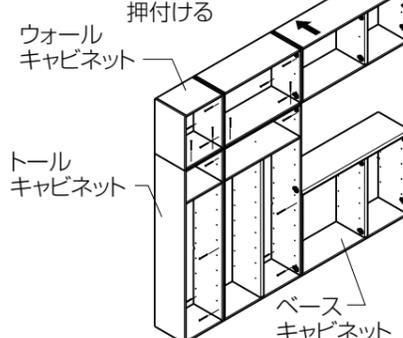
4 壁面への固定

▲ 警告

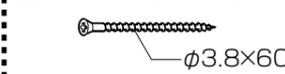
- 取付けねじは必ず桧木又は18mm以上の合板に固定してください。転倒のおそれがあります。

- ※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定してください。

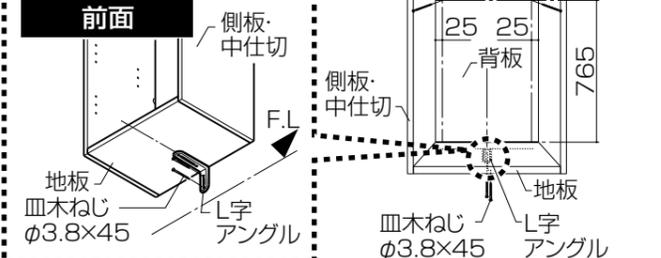
- ①キャビネットと壁面にすき間がないように押付けます。
- ②キャビネット前面を揃え、躯体取付けねじ(φ3.8×60)で固定します。



■躯体取付けねじ



■壁面固定位置



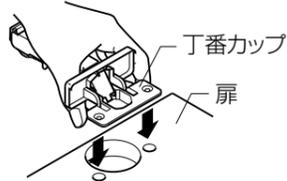
■扉の取付け順序

1 丁番カップ取付け

※天井幕板・開口調整材取付け時は、先に「■オプション部品の取付け」を参照してください。

1 丁番カップ取付け

①丁番カップのカバーを90°に開いて、扉の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。



②扉と丁番カップにすき間がないことを確認したら、「パチッ」というまでカバーを強く押込んでください。



2 把手の取付け

・お願い.....
※当て木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

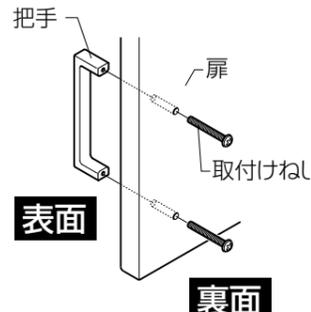
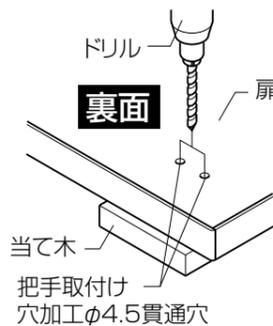
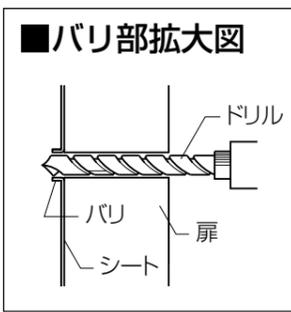
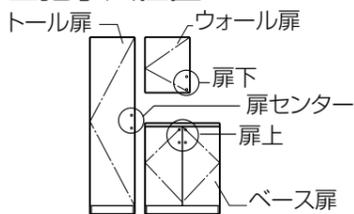
2 把手の取付け

①左右勝手の確認を行います。
※445ウォール・445ベース扉は、現場で把手穴加工をし左右勝手を決めます。

②把手取付け穴を開けます。(445ウォール・445ベース扉のみ)
※バリ防止のため、扉表側に必ず当て木をしてください。

③把手を同梱のねじで取付けます。

■把手穴位置



3 扉の取付け

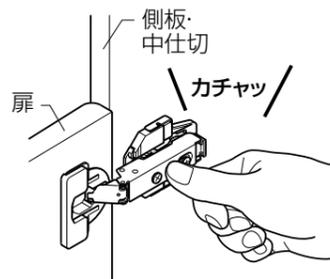
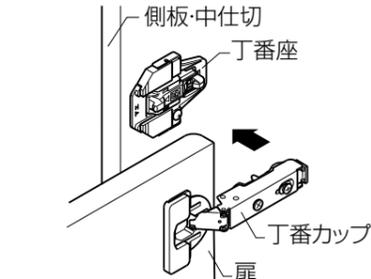
▲注意

●扉をキャビネットに取付ける際は、丁番カップが「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

※扉の取付け後、3回程開閉を行い、丁番カップがきちんと取付いているか必ず確認してください。

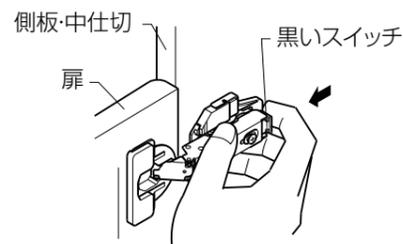
3 扉の取付け

●丁番カップを丁番座にはめ込みます。



※扉の取外し方法

●扉を外す際は、丁番カップの黒いスイッチを押してください。



4 扉の調整

4 扉の調整

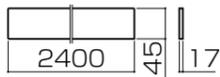
前後調整	左右調整	上下調整
<p>調整範囲/3mm (2mm/前方) (1mm/後方)</p> <p>側板・中仕切</p> <p>扉</p> <p>押込む</p> <p>引出す</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p> <p>前後調整ねじをゆるめる</p>	<p>調整範囲/±2mm</p> <p>左回し</p> <p>右回し</p> <p>側板・中仕切</p> <p>扉</p> <p>左回し</p> <p>右回し</p> <p>※調整範囲を超えてねじ込まないでください。</p> <p>左右調整ねじをゆるめる</p>	<p>調整範囲/±1.5mm</p> <p>側板・中仕切</p> <p>扉</p> <p>※調整後、調整ねじを必ず締め直してください。</p> <p>丁番座の上下調整ねじをゆるめる</p>

■オプション部品の取付け

【天井幕板・開口調整材】

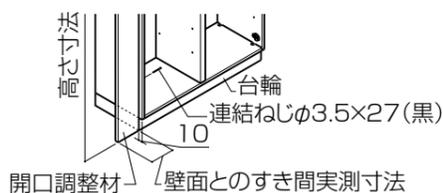
※扉より先に取付けてください。
※どちらも、現場加工用化粧材を使用します。
※天井幕板と開口調整材を併用する場合は、両者を面一に合わせてください。

●現場加工用化粧板



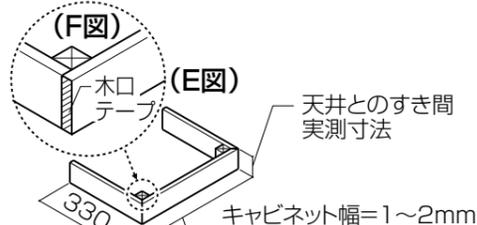
■開口調整材

①実測寸法にもとづいて化粧板を加工します。
②台輪と面一に合わせて取付けます。

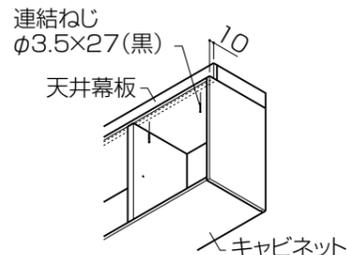


■天井幕板

①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、組立てます。(E図又はF図)
②台輪と面一に合わせて取付けます。



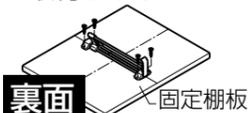
③キャビネットの内側からねじ止めします。



■ハンガー

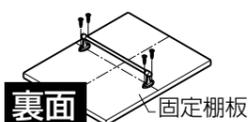
【スライドコートハンガー】

●固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



【ブーツハンガー】

●固定棚板の裏面中央に、付属のねじで取付けます。



■小物掛けフック

※アルミ扉には取付けられません。

●ダボ穴へ、付属のねじ (ℓ = 13.5mm) で取付けます。

